2010.1.30(土)

徳島新聞

最新の循環器病診療 紹介

情報

徳島医学会シンポ

来月14日、徳大蔵本キャンパス

第240回徳島医学会学術集会（会長・玉置俊晃医学部長）が2月14日、徳島大学蔵本キャンパス内の長井記念ホールで開かれ、シンポジウム「循環器病診療における最新のみかた、考え方」が一般公開される。

シンポジウムでは、5人のパネリストが最新の研究成果を発表する。徳島大学病院循環器内科の佐田政隆教授は、急性心筋梗塞の最新の初期治療法について解説。迅速に専門病院へ搬送するための取り組みなども紹介する。また、県立中央病院心臓血管外科の藤本鋭貴医師が「増え続ける大動脈瘤治療」と題して、近年増加するステントグラフト治療について解説する。

そのほか、「成人期先天性心臓病の問題点」や「予防できる下肢のむくみと肺塞栓症」などのテーマで、最新の治療法などが紹介される。

座長は、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部の北川哲也教授と、県医師会の中山公司医師。

シンポジウムは、午後1時50分から3時50分まで。入場無料。問い合わせは、徳島医学会の宮本さん〈電088（633）7104〉。